

物理学委員会分科会の設置について

分科会等名： 素粒子物理学・原子核物理学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	物理学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	素粒子物理学や原子核物理学は、より基本的な法則やより素なるものの探求を主な研究テーマとする。原子核や素粒子の大きさは 10^{-12} から 10^{-15} センチメートルと極めて小さく、それを観測するための顕微鏡として大型の「加速器」が必要である。現在の最先端研究を進めるには、ギガ (10^9) ～テラ (10^{12}) ボルト相当の加速エネルギーが必要であり、極めて大型のプロジェクトとなる。世界的な連携・協力も必要である。 この分野で日本は理論・実験両面でめざましい成果を挙げてきたが、今後は一層大型化する現状を直視し、厳しい分析と注意深いプランニング、国際的動向の分析が必要である。本分科会は、コミュニティとも連携をはかりながら、本分野の研究の進め方に関する提言を行なう。また、本分野の社会的インパクトや社会的理解の増進についても議論する。
4	審議事項	素粒子物理学・原子核物理学の現状の分析、日本での今後の研究の進め方、国際分担のあり方、社会的普及等の審議にすること。
5	設置期間	平成29年10月30日～平成32年9月30日
6	備考	